

(別添資料1)

事業所名

おもちゃ箱とめ プラス

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

7 年

3 月

6 日

法人（事業所）理念		笑顔と挑戦と感謝の心で地域福祉を創造する										
支援方針		遊びを通じて集団生活のルールや社会性を学び、自主性と自立性を育てる 研鑽と協調、資質の向上に努め、心身共に健やかで豊かな人間性を養い、安心安全なサービスの提供を目指す										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	衣服の着脱、排泄、食事など基本的な日常生活動作を獲得し自信と自立を促す 生活リズムを整える事で、情緒の安定を図る 1人1人のロッカーを用意し、自分の持ち物の管理をする										
	運動・感覚	公園や体育館、室内遊び等で筋力の維持や強化、感覚の発達につなげる 五感へ刺激した活動を促し、感覚の偏りを調整する 体の動かし方や使い方をスモールステップで繰り返し学び、感覚で覚えながら体幹を鍛える 音に合わせて動きを変えと言った運動課題や、ダンスや体操を通じて運動発達や模倣力を育む										
	認知・行動	1人1人の特性に合わせた課題を提供し、認知学習の時間を確保する 数量、大小、色などの習得（マッチング、大小仲間分け、色彩を考える） 認知や行動への手がかりとなる概念の形成（パズル、ブロック遊び、手順書）										
	言語 コミュニケーション	指差し、身振り、サイン等の活用（物の用途を相手に伝える） 運筆練習、プリント、絵本の読み聞かせ 帰りの会でその日の反省を伝える際、どう話せば相手に伝わるかを考える 集団ゲームでの順番決めや、特別活動に向けた話し合いなどを通じて、子ども同士でやり取りする力を育てる										
	人間関係 社会性	成功体験をたくさんする中で、相手を認める力、負ける事を受け入れる力、自分の気持ちをコントロールする力を身に付ける 様々な学年の児童と関わる事で、集団における社会性を学ぶ 社会資源の活用（公共施設等での室内外活動、図書館、公園、体育館、社会見学）										
家族支援		家庭での困りごとに対する助言や相談、サポート 子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助				移行支援		将来的な移行を見据えた目標や支援内容の設定 進路先や移行先の相談援助や情報提供				
地域支援・地域連携		相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との連携 行事やボランティア・職場体験の受入等の交流 佐沼高校との交流				職員の質の向上		県社協のキャリアアップ研修、外部の専門研修への派遣 虐待防止や身体拘束等の研修への派遣や内部研修の実施				
主な行事等		土、祝日・・・家庭科療育、運動療育、工場見学等 年2回・・・避難訓練、防災訓練 季節行事・・・豆まき、お花見会、水遊び、お泊り会、ハロウィンパーティー、クリスマス会、餅つき大会、卒業を祝う会、交通安全教室										